

令和6年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	7	議席 番号	19	氏名	植 松 健 一 議員	1 / 1
発 言 項 目		要 旨				答 弁 者
1	災害時の同報無線について	<p>令和6年能登半島地震では市町によっては同報無線が聞こえない地域があったと聞く。当市の同報無線についてはデジタル化も完了し備えはできていると思うが、いざというときのために確認も含めて以下伺う。</p> <p>(1) 当市において現在、同報無線が聞こえない、または極めて聞こえづらい地域はあるか。</p> <p>(2) 大きな地震の場合、同報無線設備の被災の可能性も考えられるが対策はできているか。</p> <p>(3) デジタル化を行ったがその目的と成果は。</p> <p>(4) 市民から同報無線について様々な意見をいただくことが多い。当局に寄せられている声にはどのようなものがあるか。またそれについての対応は。</p> <p>(5) 午後4時の放送での富士宮市歌が聞き取りづらいという声をよく聞く。なぜ聞き取りづらいのか、その状況は緊急時に影響はないか。また聞き取りづらさを解消する方法はないか。</p> <p>(6) 同報無線の目的は、端的には平常時における市民の利便や緊急時における市民の生命を守ること等と考えるが、当局の考えは。また今後の運用や設備面で考えることはあるか。</p>				市長 副市長 教育長 関係部長
2	災害廃棄物処理について	<p>令和6年能登半島地震での被災後のまちの状況をニュースなどの映像で見ると、倒壊したままの家屋も含めて災害廃棄物の処理が復旧には非常に大きなポイントとなっていることが見て取れる。当市における災害廃棄物処理についての考えを伺う。</p> <p>(1) 災害時の廃棄物処理については、富士宮市地域防災計画共通対策編第3章災害応急対策計画の第15節清掃及び災害廃棄物処理計画にうたわれている。しかしこの内容を見ると具体性が乏しいと感じる。もっとデータのな部分も示した実効性のある計画が必要と考えるがどうか。</p> <p>(2) 倒壊家屋などによる道路の封鎖を速やかに解消するための解体作業についての考えは。</p> <p>(3) 解体や片付けが進むと一時的にはあるがまた道路が廃棄物の置き場になってしまうことが予想される。速やかに撤去するための仮集積場についての考えは。</p> <p>(4) 処理に当たって市の清掃センターが稼働できた場合の最終処分についての考えは。</p> <p>(5) 清掃センターも被災して稼働できない場合や、稼働できても処理が追いつかない状況も予想される。そのような場合は市内民間処理業者の協力や広域での処理を考えていく必要があるが具体的な計画は。</p> <p>(6) 被災後の自宅等の片づけ処理において、市民が戸惑わないように災害廃棄物処理についてのハンドブックまたはパンフレット等を作成してはどうか。</p>				市長 副市長 教育長 関係部長